

床材に合ったワックスによるメンテナンスを行ってください。日常、適切なメンテナンスがなされていれば、ほとんどの汚れは掃き掃除と、固く絞ったモップによる水拭きだけで落とすことができます。一般に、汚れは時間の経過と共に落ちにくくなりますので、できるだけ早いうちに落とすように心がけてください。また砂粒などによる損傷を避けるために、建物の入口に大きめの防塵マットを敷き、外から砂を持ち込まないように配慮してください。

日常の手入れ

- ① ゴミ、砂等は床材表面に傷をつけることとなりますので、ホウキ、掃除機等で取り除きます。
- ② 塵埃等は、固く絞ったモップで水拭きするか、化学雑巾で取り除きます。
- ③ 汚れがひどい所は、洗浄剤「ワイブノン」を用い、ポリッシャーまたはブラシ等で取り除きます。
- ④ ワックスが摩耗している所にはワックスを再塗布します。
- ⑤ 洗浄剤で取り除けない場合は、古いワックスを剥離剤「ハクリスターPRO 10」で取り除き、再度ワックスを塗布します。

表面洗浄

- 全体的に汚れが目立ち始めたら実施します。
- ① ゴミ等をホウキ、掃除機等で取り除きます。
 - ② 「ワイブノン」を汚れの程度に応じて水または温水で10～120倍に希釈します。
 - ③ 専用モップでたっぷり均一に塗布し、ポリッシャー（青または緑パッド使用）またはブラシ等で汚れを取り除きます。
 - ④ スクイジーまたはウェットバキュームクリーナーですみやかに汚水を回収し、乾かないうちにきれいなモップで十分に水拭きして、汚水を完全に拭きとります。
 - ⑤ 床面を十分に乾燥させます。
- ※屋外用防滑性床シートは、汚れの堆積が進むと強い変色の原因になるので注意してください。

剥離洗浄

- 汚れがワックス皮膜の表面だけでなく、内部に抱き込まれたり、皮膜が黄変したり、粉化したときに実施します。
- ① ゴミ等をホウキ、掃除機等で取り除きます。
 - ② ワックス剥離剤「ハクリスターPRO 10」を水または温水で10～15倍に希釈します。
 - ③ 専用モップでたっぷり均一に塗布し、ワックス膜が分解するまで5～10分間放置します。
 - ④ ポリッシャー（緑、茶または黒パッド使用）でワックス膜を完全に除去します。※ロンリウムなどのソフトな床材には、緑または茶パッドの使用をお奨めします。
 - ⑤ スクイジーまたはウェットバキュームクリーナーですみやかに汚水を回収し、乾かないうちにきれいなモップで十分に水拭きして、汚水を完全に拭きとります。
 - ⑥ 床面を十分に乾燥させます。

ワックス塗布

- ① 床面を「ワイブノン」や「ハクリスターPRO 10」で汚れや古いワックス膜を完全に除去し、十分に洗浄後、床面を乾燥させます。
 - ② ワックスを専用モップで塗り残しのないように均一に塗布します。約30分で乾燥しますが、重ね塗りの場合、60分以上の乾燥をお奨めします。塗膜の乾燥が進み、耐久性が向上します。
 - ③ 歩行量の多い場所や長時間効果を維持するには、2～3回重ね塗ります。
- ※防滑性床シートにワックスを塗布すると、防滑性が低下する場合がありますので、ノーワックスメンテナンスでの使用をお勧めいたします。
- ※耐薬品性床シートにワックスを塗布すると薬品によりワックスが変色・変質する場合がありますので、ノーワックスメンテナンスでの使用をお勧めします。耐汚れ性を重視する場合、ワックスを塗布することは可能です。ワックスが変色・変質した場合、剥離・再塗布することで美観が回復します。
- ※抗菌性床材には抗菌性樹脂ワックスを、帯電防止および導電性床材には帯電防止性樹脂ワックスをご使用ください。

使用上の注意

1 泥よけマットを設置

水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置など雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には除去するようにしてください。



2 剥がれなどはすぐ連絡



床シート、床タイルに剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、専門業者に連絡をして、補修してください。放置しておくと、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。

3 焼け焦げに注意

床シート、床タイルのほとんどの製品がタバコの火により、焦げ跡を生じます。投げ捨てや踏み消しをしないよう注意を喚起してください。



4 OAフロアでは



OAフロア用タイルのメンテナンス時は水・洗浄剤・剥離剤を大量に使用しないでください。床材の目地から水等が入り込み、床下の配線に悪影響を及ぼすことがあります。

5 詳しい資料を読んで

機能性床材については特別な注意点ががありますので、それぞれのカatalog、技術資料等を参照してください。(各種資料請求は弊社営業担当者にお申し付けください。)



6 ワックスのあとは

ワックスは床材に塗布後、完全に乾かしてください。乾く前に什器や備品を置くと、ワックスによって張り付き、動かした時に床材と一緒に剥がれることがあります。



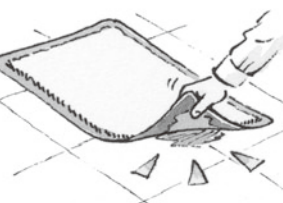
7 指定のメンテナンス材を



メンテナンスの際は、ロンシール指定のメンテナンス材をご使用ください。

8 褐色に汚れたら

ゴムタイヤや家具の脚ゴム、ゴムマットなど一部の製品によっては、床面が褐色に汚染する(ゴム汚染)場合があります。非汚染タイプのゴムに変更するか、床シートがこれらのものに直接触れないよう、保護板を敷いてください。



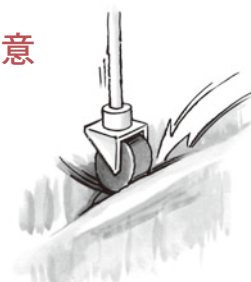
9 無理な移動は×

重量物の無理な移動によって、床材の表面を傷つけたり、膨れを発生させる可能性があります。強くこすったり、ひきずったりしないようご注意ください。



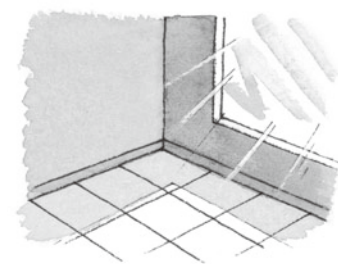
10 キャスターに注意

キャスターの往来により、ねじれ、ズレ、ひねりの負荷が生じ、床材の破損や、下地や接着剤の破損による、膨れ、剥がれが生じる可能性があります。乾燥した強い下地に、使用に適した床材および接着剤を使用してください。

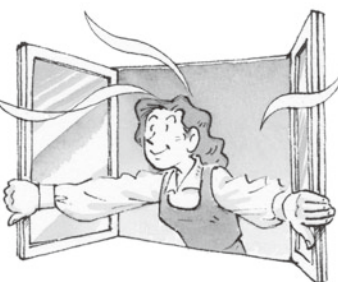


お願い

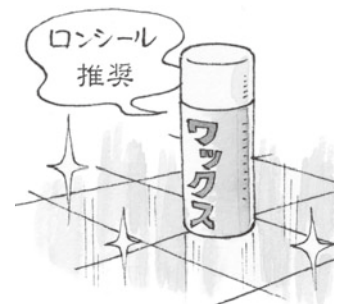
- 1 接着剤が十分に硬化するまでは、直射日光や冷暖房による急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けてください。突き上げ・目地すき・膨れなどを発生させる可能性があります。



- 2 施工直後の床シート、床タイルは素材固有の匂いを有しています。有害物質の放出はありませんが、換気を心掛けてください。



- 3 メンテナンスは、必ずロンシール推奨のワックスをご使用ください。ワックスはシート、タイルの汚れを防ぎ、美観を保持します。



- 4 長時間直射日光が当たる場所では変色する可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけしてください。



- 5 ハイヒールや家具などの局部荷重により、へこみあとが残る可能性があります。

